

経営理念：利用者『最善の利益』を図り、地域の福祉に貢献する

保育の 1. 子どもの人格・人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切にします 2. 子どもの発達に即した援助・保育をします

方針 3. 子どもが安心して過ごせる生活の場にします

保育目標 ◆じょうぶな身体（健康） ◆たしかな考え（理性・認識） ◆ゆたかな心（感性・情緒） ◆よき仲間（協調性・社会性）



## るんびに0歳児くらすだより

### ♪じぶんでできるもん！♪

～自己主張がみられるようになってきました～

令和5年10月31日（火）

文責 田代 美穂

朝夕ぐっと冷え込み、秋から冬への移り変わりを肌で感じられるようになってきました。体調の変化に留意し、お家の方と密に連絡を取りながら季節ならではの遊びを楽しんでいきたいと思えます。先日の運動会は体調が心配でしたがみんなで参加することができなによりでした。初めての運動会でしたが笑顔あふれる運動会となり一人ひとりの成長を見て頂けたのではと思います。準備、片付け等のご協力ありがとうございました。



季節の変わり目で体調を崩しぎみな子ども達ですがお外へ出ると行動範囲も広がり、元気いっぱいです。散歩から帰ってくると、2階への階段上りも上手になり、登りきると得意げな表情で園庭にいるお友達や、保育教諭に向かって手を振りながら「ヤッホー！」と声をかけるのがかわいい日課になっています。最近は自己主張も出てきて、階段上り時、私たちが補助しようとする「イヤイヤ！じぶんでできるもん！」とばかりに手を振り払い、ハイハイや柵を伝って登っていきます。上までたどり着くと一生懸命に出来ないながらも靴を脱ぎ始める、こはるちゃん、はやとくん、ゆいとくん！ 私が手伝おうとすると「ジブンデ！」とやってみようと一生懸命！少しの補助で出来ることが増え、できない時は「手伝って！」と仕草や言葉で教えてくれるようになりました。頑張っ一人で脱ぐことができると、靴箱に脱いだ靴を自分で入れに行き「じょうず！じょうず！」と得意げな表情で、出来た自分に拍手する子ども達です。靴下も先っぽを上手に引っ張って自分で脱ぐことを楽しんでます。しょうまくんは、増々動きが活発になり、高這いであっちへこっちへと興味のある場所へとハイハイで移動を楽しみ、つかまり立ちをする時間も長くなってきて、お部屋の窓辺にあるクルクル回るおもちゃに手を伸ばして、長い時間お外を眺めたりおもちゃを回しては嬉しそうな様子が見られるようになってきました。



さまざまな場面で動作や表情、声や言葉で自分の気持ちを伝えようとする姿が増えてきました。子ども達の成長をととても感じる瞬間です。この時期の子ども達がイヤイヤで主張したり、泣いたりするのは、自我が育ってきたしるし。大人はそんな子ども達のイヤイヤにやきもきしてしまう場面も多いことと思いますが、そんなイヤイヤをこわがらないで、イヤイヤができるほど賢くなったと喜んでくださいね。

子どもたちの思いに耳を傾け、言葉に出して共感し、気持ちが伝わっている事を体感し満足した生活が出来るよう遊びを楽しんでいきたいと思えます。



## ★お知らせとお願い★

・園だよりでもお伝えしましたが、園にて個人面談を行いたいと思います。園での子どもさんの育ちや様子など、ご都合のつく時間やお迎えの際などに 20 分ほど時間を頂き、保護者の皆様と共有していきたいと思います。お忙しい貴重な時間ですが、ご都合のつく日程をお知らせください。よろしくお願いいたします。



苦情・相談解決制度 本園の保育や処遇等に意見・要望がありましたら、ご遠慮なく申し出て下さい。  
 受付担当者 主幹保育教諭 黒木 美紀 解決責任者 園長 假屋 由美子  
 第三者委員 丸田 瑞穂 (099-482 - 6172) 横峯 友理子 (099-474-1851) 山口 和美 (090-5473-5866)